

# 2021年3月期決算説明資料

2021年5月14日

株式会社エフテック

東証1部:7212

<https://www.ftech.co.jp>



1 決算概要

2 経営戦略

3 トピックス



1 決算概要

2 経営戦略

3 トピックス

# 連結決算概要(前年同期比)

(単位:百万円)

	2020年3月期 実績		2021年3月期 実績		増減	
売上高	218,712	100.0%	183,647	100.0%	▲35,065	▲16.0%
営業利益	4,088	1.9%	3,072	1.7%	▲1,016	▲24.9%
経常利益	2,764	1.3%	2,383	1.3%	▲381	▲13.8%
親会社株主に帰属する当期 純利益	328	0.2%	▲1,165	▲0.6%	▲1,493	▲454.8%
1株利益(円)	17.58	—	▲62.58	—	▲80.17	▲455.9%

2021年3月期は新型コロナウイルス感染症影響として、特別利益に「補助金収入」18億円、特別損失に「新型コロナウイルス感染症による損失」28億円を計上しております。

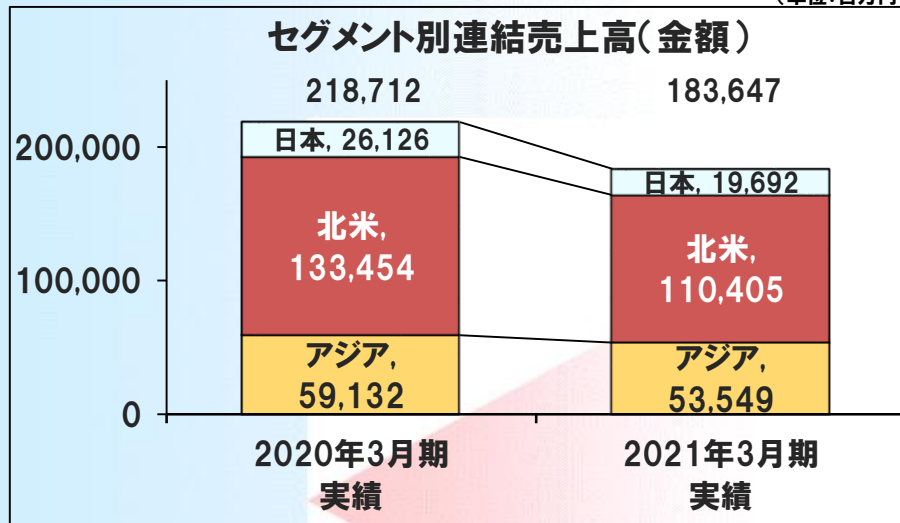
## 為替

	2020年3月期	2021年3月期	増減額
1US\$	108.95円	105.95円	▲3.00円
1CAN\$	81.67円	80.31円	▲1.36円
1人民元	15.82円	15.42円	▲0.40円

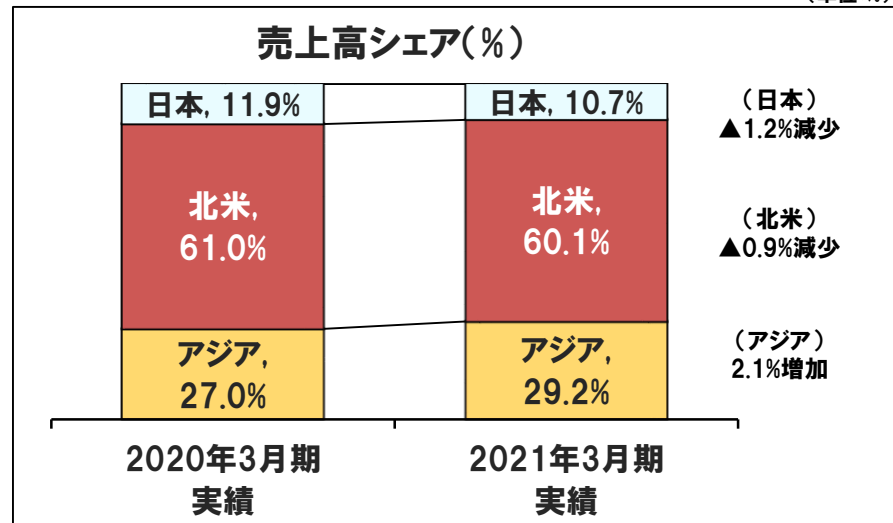
減収減益(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う受注数減少)

# 連結売上高(前年同期比)

(単位:百万円)



(単位:%)



## 連結売上高増減

	'20年3月期	'21年3月期	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	26,126	19,692	▲6,433	▲24.6%	—	▲6,433	▲24.6%
北米	133,454	110,405	▲23,049	▲17.3%	▲2,525	▲20,524	▲15.4%
アジア	59,132	53,549	▲5,582	▲9.4%	▲1,392	▲4,191	▲7.1%
<b>連結</b>	<b>218,712</b>	<b>183,647</b>	<b>▲35,065</b>	<b>▲16.0%</b>	<b>▲3,917</b>	<b>▲31,149</b>	<b>▲14.2%</b>

連結売上の89.3%が海外拠点。COVID-19からの回復が早かった中国の影響でアジアが健闘

# セグメント別営業利益(前年同期比)

(単位:百万円)

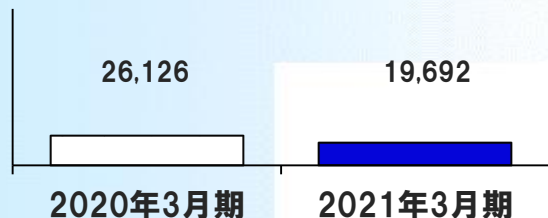
	金額			
	2020年 3月期 実績	2021年 3月期 実績	増減	増減率
日本	▲683	299	982	—
北米	367	▲686	▲1,054	▲286.7%
アジア	4,365	3,993	▲372	▲8.5%
合計	4,050	3,606	▲444	▲11.0%
調整	37	▲534	▲572	—
連結	4,088	3,072	▲1,016	▲24.9%

(単位:%)

シェア		
2020年 3月期 実績	2021年 3月期 実績	増減
▲16.7%	9.8%	26.5%
9.0%	▲22.4%	▲31.4%
106.8%	130.0%	23.2%
99.1%	117.4%	18.3%
0.9%	▲17.4%	▲18.3%
100.0%	100.0%	—

# セグメント別連結業績(日本)

## 売上高

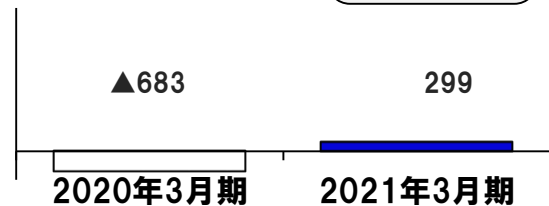


増減額	▲6,433
増減率	▲24.6%
為替影響	—
実質増減	▲6,433
増減率	▲24.6%

増減理由		
1	主要得意先への製品売上減少等	▲5,536
2	商品売上増加(Gr向け金型設備売上)	2,439
3	技術収入売上(ロイヤリティ、開発費、他)	▲31
4	国内子会社売上減少	▲1,227
5	内部売上控除(Gr会社向け売上減少影響)	▲2,079
合計		▲6,433

## 営業利益

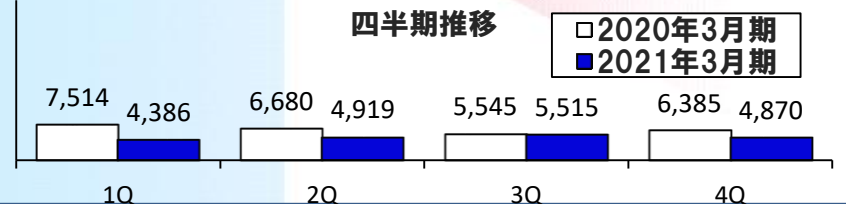
(単位:百万円)



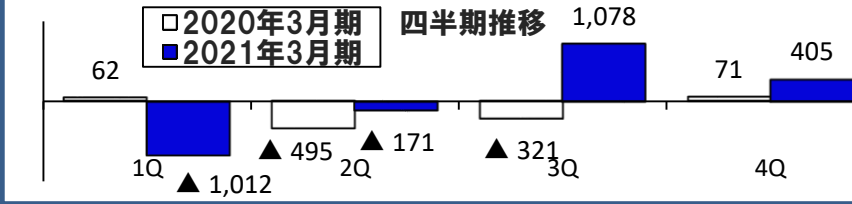
増減額	982
増減率	—
為替影響	—
実質増減	982
増減率	—

増減理由		
1	製品売上減少影響	▲776
2	商品売上増加影響(Gr向け金型設備売上増加)	452
3	技術収入売上(ロイヤリティ、開発費、他)	38
4	原価改善・販管費削減等	1,112
5	COVID-19影響による固定費の特別損失振替	156
合計		982

## 四半期推移



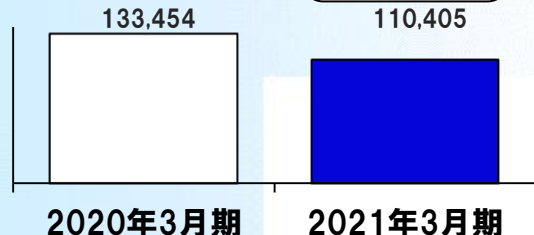
## 四半期推移



減収増益(減収:主要得意先からの受注減、増益:経費削減効果及び商品売上増加影響)

# セグメント別連結業績(北米)

## 売上高



増減額	▲23,049
増減率	▲17.3%
為替影響	▲2,525
実質増減	▲20,524
増減率	▲15.4%

## 営業利益

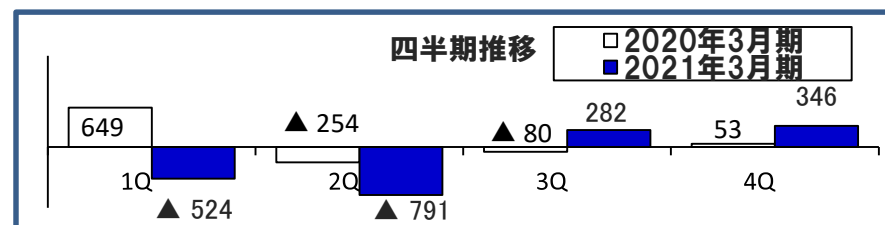
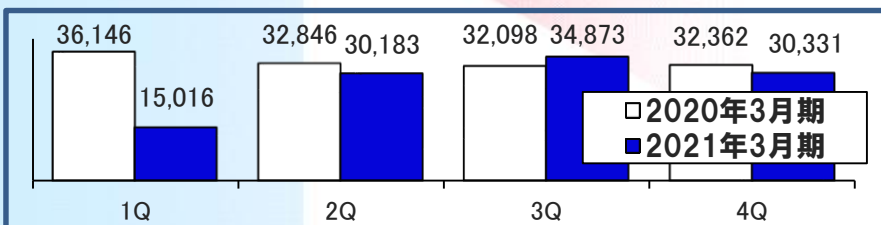
(単位:百万円)



増減額	▲1,054
増減率	▲286.7%
為替影響	31
実質増減	▲1,086
増減率	▲295.9%

増減理由		
1	主要得意先製品売上減少(HM)	▲15,307
2	主要得意先製品売上減少(GM)	▲5,517
3	主要得意先製品売上減少(その他)	▲914
4	商品売上増加	1,213
5	為替換算影響	▲2,525
合計		▲23,049

増減理由		
1	製品売上減少影響	▲3,876
2	商品売上増加影響	150
3	原価改善・販管費削減等	664
4	COVID-19影響による固定費の特別損失振替	1,977
5	為替換算影響	31
合計		▲1,054



減収減益(減収:全体では減収も新規得意先は増収、減益:売上減少影響も増収した下半期は黒字化)



# セグメント別連結業績(アジア)

## 売上高



増減理由		
1	(中国)主要得意先製品売上増加(HM)	4,270
2	(中国)主要得意先製品売上減少(他)	▲2,819
3	(ア大)主要得意先製品売上減少(HM)	▲4,102
4	(ア大)主要得意先製品売上減少(他)	▲1,540
5	為替換算影響	▲1,392
合計		▲5,582

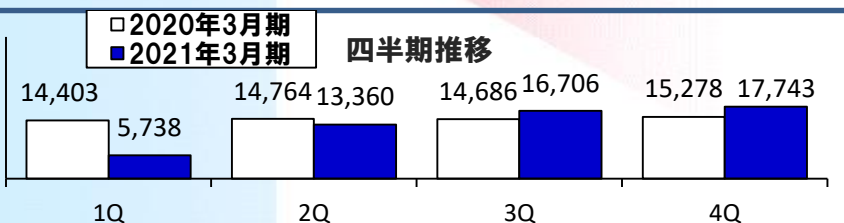
## 営業利益

(単位:百万円)

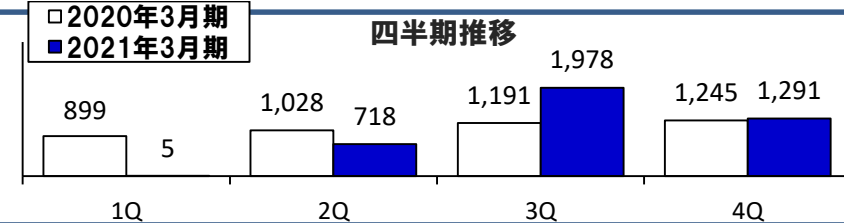


増減理由		
1	製品売上減少影響	▲1,705
2	原価改善・販管費削減等	801
3	商品売上減少影響	▲75
4	COVID-19影響による固定費の特別損失振替	697
5	為替換算影響	▲91
合計		▲372

## 四半期推移

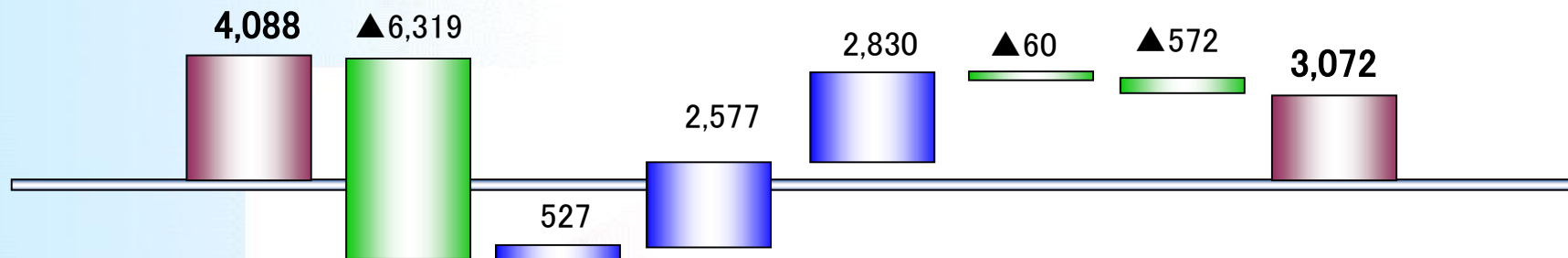


## 四半期推移



減収減益(減収:主要得意先からの受注減、減益:売上減少影響)

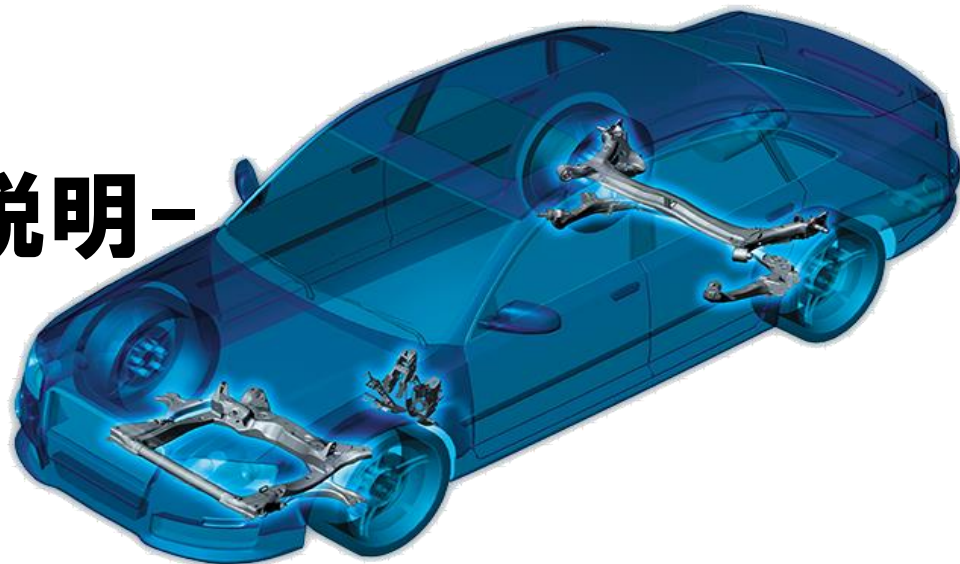
# セグメント別営業利益(2021年3月期実績)



	2020年 3月期	製品売上 影響	商品売上 影響	経費増減 合理化	コロナ 特損振替	為替影響	連結調整	2021年 3月期	増減
日本	▲683	▲738	452	1,112	156			299	982
北米	367	▲3,876	150	664	1,977	31		▲686	▲1,054
アジア	4,365	▲1,705	▲75	801	697	▲91		3,993	▲372
調整	37						▲572	▲534	▲572
連結	4,088	▲6,319	527	2,577	2,830	▲60	▲572	3,072	▲1,016

## 1. 決算概要

### -発表比増減説明-



# 連結決算概要(2021年3月25日修正発表比)

(単位:百万円)

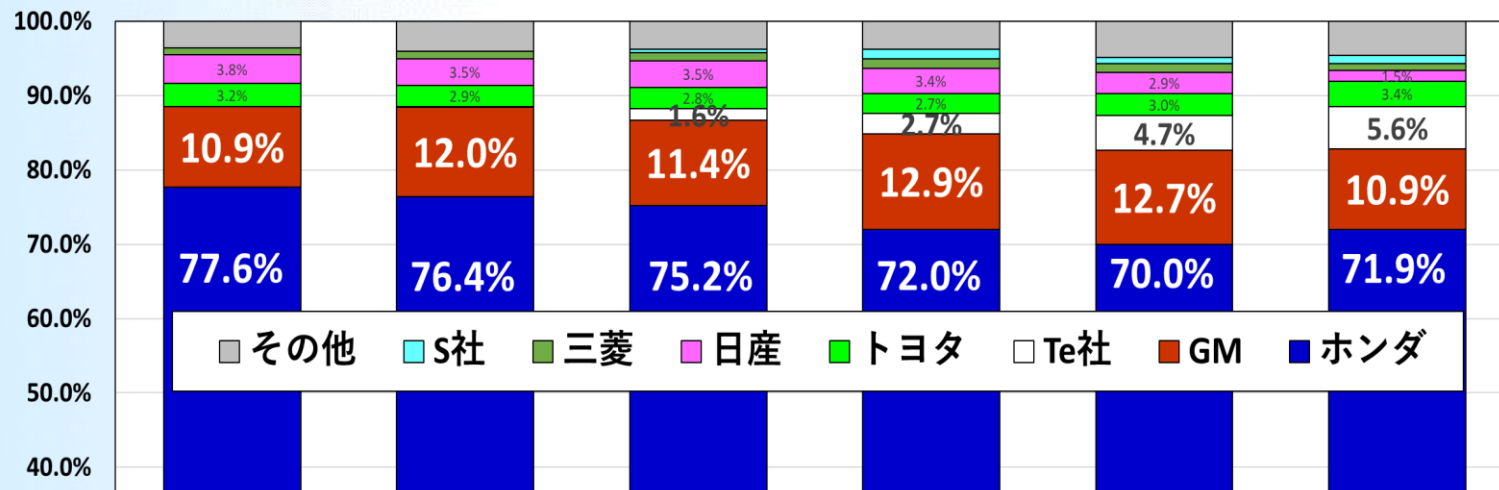
	2021年3月期 予想		2021年3月期 実績		増減		
売上高	193,000	100.0%	183,647	100.0%	▲9,353	▲4.8%	社内取引控除漏れ及び 売上の期ずれ発生
営業利益	3,600	1.9%	3,072	1.7%	▲527	▲14.7%	売上の期ずれ発生による影響
経常利益	2,600	1.4%	2,383	1.3%	▲216	▲8.3%	為替影響(円安によるもの) 為替差損(3Q) 552→(期末) 264
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲900	▲0.5%	▲1,165	▲0.6%	▲265	—	
1株利益(円)	▲48.28	—	▲62.58	—	▲14.30	—	

(単位:1円)

	2021年3月期予想	2021年3月期実績	増減額
1US\$	105.58円	105.95円	0.37円

減収減益(内部取引の調整漏れ及び売上タイミングの期ずれ発生)

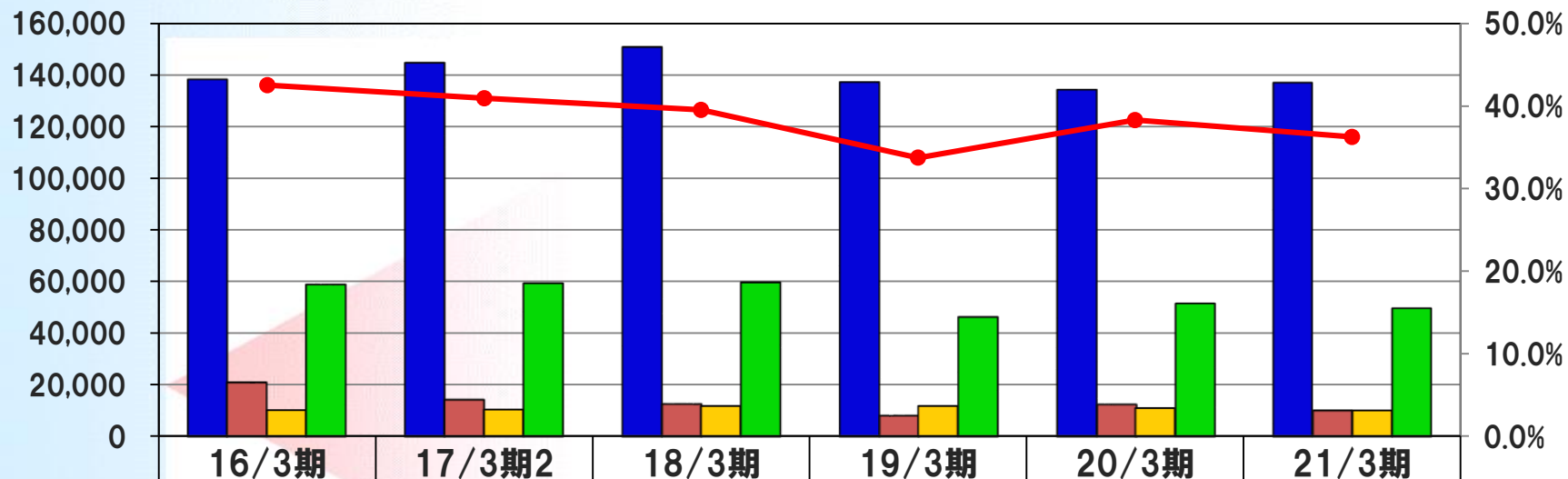
# 得意先別売上高の推移



	'16年3期	'17年3期	'18年3期	'19年3期	'20年3期	'21年3期
ホンダ	152,435	151,282	170,089	169,512	153,004	132,123
GM	21,345	23,683	25,782	30,258	27,719	20,051
Te社	—	247	3,661	6,443	10,211	10,374
トヨタ	6,204	5,658	6,428	6,300	6,471	6,178
日産	7,435	6,985	7,957	7,977	6,275	2,825
三菱	1,803	2,036	2,648	3,051	2,597	1,541
S社	—	71	1,010	2,913	1,686	2,066
その他	7,121	7,979	8,485	8,907	10,749	8,488
<b>合計</b>	<b>196,343</b>	<b>197,941</b>	<b>226,060</b>	<b>235,361</b>	<b>218,712</b>	<b>183,647</b>

(単位:百万円)

■ 総資産   ■ 設備投資   ■ 減価償却費   ■ 有利子負債   ● 有利子負債依存度



	16/3期	17/3期2	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期
総資産	137,980	144,420	150,525	137,010	134,038	136,714
設備投資	20,578	14,094	12,435	8,056	12,238	10,010
減価償却費	10,081	10,335	11,666	11,720	10,890	10,032
有利子負債	58,686	59,129	59,510	46,220	51,342	49,565
有利子負債依存度	42.5%	40.9%	39.5%	33.7%	38.3%	36.3%

	1Q末	2Q末	3Q末	期末	合計	配当性向
2020年3月期配当実績(前期)	—	10円00銭	—	10円00銭	20円00銭	113.7%
2021年3月期配当予定(今回)	—	0円00銭	—	8円00銭	8円00銭	—
前回差	—	▲10円00銭	—	▲2円00銭	▲12円00銭	—
2022年3月期配当予想(翌期)	—	未定	—	未定	未定	—
前回差	—	—	—	—	—	—

## 配当方針

当社の利益配分に関する基本方針は、業績に基づく利益還元を基本としています。  
 財務体質の強化を図りながら利益の状況、将来の事業展開など長期的な視野に立って皆様への利益還元を図ってまいります。  
 配当性向の当面の目途を親会社株主に帰属する当期純利益の10%以上とし、中間、期末の年2回を基本としております(期末配当は株主総会決議)。



1 決算概要

2 経営戦略

3 トピックス



## 第14次中期経営計画

全社方針： 限界突破！世界中のお客様にこだわりのBest Oneを

66期 (FY2020)

67期 (FY2021)

68期 (FY2022)

**Back to Basics**  
~こだわりを極め~

◇全拠点の  
黒字化

◇シミュレーション  
の進化

◇国内の再生

**Challenge for New**  
~新たな価値創造へ挑戦~

◇新たな柱となる  
顧客を確立

◇新たな地域  
への挑戦

◇新たなビジネス  
の創出

グループ効率の  
最大化を図る

目標

- 【生産性】  
・要員効率向上
- 【効率性】  
・自動検査装置
- 【収益性】  
・廃却仕損費削減  
・FCF黒字化

**Our Vision： 足廻り機能領域の専門メーカーとして世界No.1を目指す**

足廻り機能領域の専門メーカーとして世界No.1を目指す。

足廻り機能領域とは……『サブフレーム、サスペンション、ペダルの3つのコア領域』

世界No.1とは……『誰にも負けないモノづくりの本質を追求する』

No.1を目指すために、次の5項目を追求します

## 1. お客様から最高評価獲得

品質、コスト、納期、マネージメント全ての領域

## 2. 新価値提供

唯一無二の価値を提供

## 3. 新技術開発

新たな発想や新たなアプローチから独自の技術を展開

## 4. ネットワークの構築

他専門メーカーと知見を共有し、新たな提案を具体化

## 5. 収益力強化

既存事業の盤石化と新たな成長機会への投資

## <Back to Basics ～こだわりを極め～>

- ◇ 全拠点の黒字化
- ◇ シミュレーションの進化
- ◇ 国内の再生

## <Challenge for New ～新たな価値創造へ挑戦～>

- ◇ 新たな柱となる顧客を確立
- ◇ 新たな地域への挑戦
- ◇ 新たなビジネスの創出

## 2020年度セグメント別営業利益

	営業利益	現状
日本	299	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒字転換</li> <li>→海外向け設備販売拡大、経費削減でカバー</li> </ul>
北米	▲686	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業績の好不調2極化</li> <li>→課題拠点の改善テコ入れ推進中</li> </ul>
アジア	3,993	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国は好調を維持継続</li> <li>→他アジア拠点にフォーカス</li> </ul>

2020年度は新型コロナ禍での生き残りを第一義として事業活動を推進

## 2021年度の展開

	状況/展開
日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内製品売上高の減少続く</li> <li>→海外向け設備販売、経費削減は継続</li> <li>→国内体制の見直し</li> </ul>
北米	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善施策の完結</li> <li>・新規受注案件へのプロジェクト始動</li> </ul>
アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ア大拠点の個別課題へ対処</li> </ul>

2021年度も新型コロナ、半導体不足の影響が残るが、変化に負けず全拠点の黒字化必達

## 試作レス開発(設計・解析で完結)の実現 ⇒ 時間・コスト削減



製品解析性能評価の精度向上

試作品製作→試験実施プロセスの結果精度向上



## 最新CAE解析によるシミュレーションで最適な設計を実現

設計

### 最適化設計

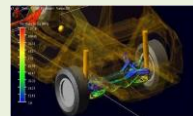
- ・最適仕様で軽量化提案
- ・圧倒的な競争力の実現

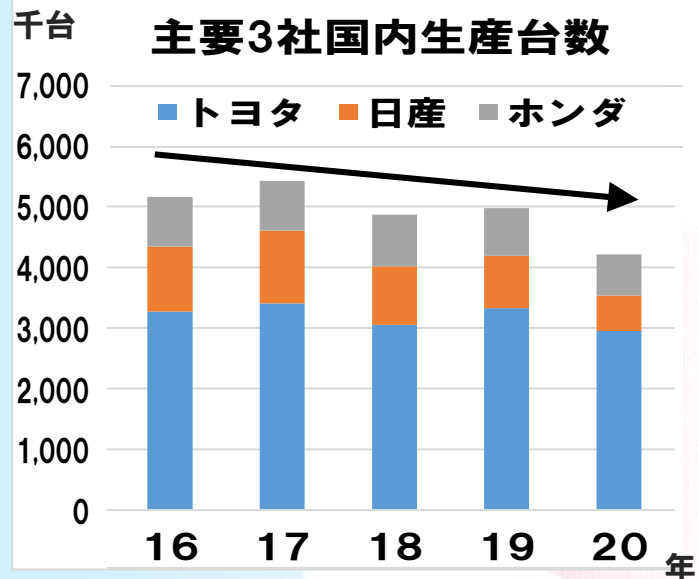


解析

### ADAMS(CAE解析)

- ・各コンポーネントの製品影響把握
- ・ベストバランス部品開発

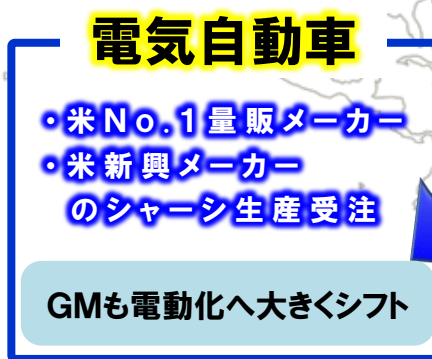
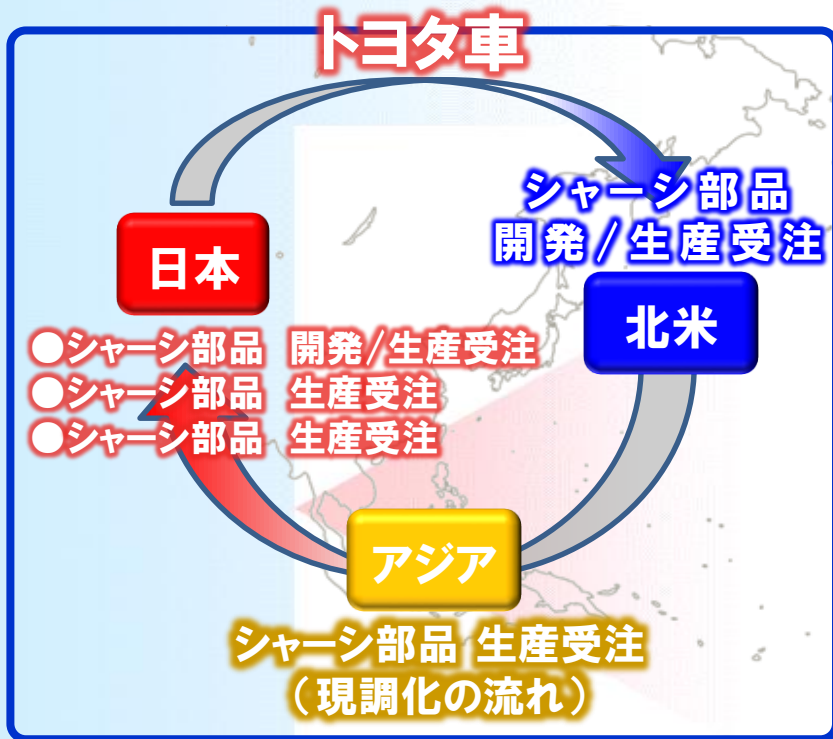




- ・ 国内生産台数は下降トレンド
- ・ 輸出減少⇒更に減少の恐れ

## 生産減に耐えうる国内体制構築

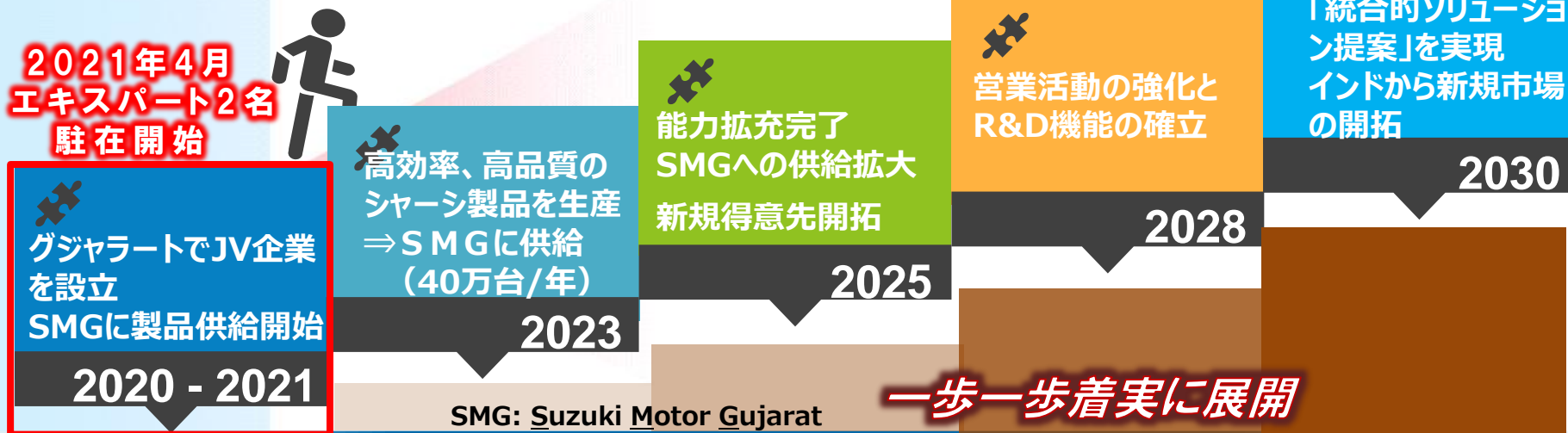
国内事業所	売上確保	<新規顧客の開拓> ・新規顧客の確立と更なる取引拡大へ
	生産減少への適応	<工場の更なる高効率化、スペース活用> ・ライン進化:単機種から多機種生産ラインへ ・物流シンプル化:出荷エリア集約 ・新規受注製品:全工程内製化
	コスト削減	<外注費/検査費用> ・外部倉庫:内部スペースの活用 ・外注加工:内製化の促進 ・破壊検査:ロス最小化
間接部門	業務改革	<業務改革/人材捻出> ・集約:各部門で抱える事務・サービス業務の効率化・集約化の推進 ・人材:業務改革で人材を捻出し、再配分⇒海外領域、新規事業領域



お客様の多様化、拡大に成功  
安定量産、確かな品質で更なる取引拡大を目指す

会社名称	VEE GEE Auto Components Private Limited (ヴィージー・オート・コンポーネツ・プライベート・リミテツド)	
出資額	342,940,000 INR(インドルピー)(約488百万円※)	
出資比率	VEE GEE INDUSTRIAL ENTERPRISES PVT.LTD. 74%	株式会社エフテック 26%
主な客先	スズキ・モーター・グジャラート社 (SMG)	

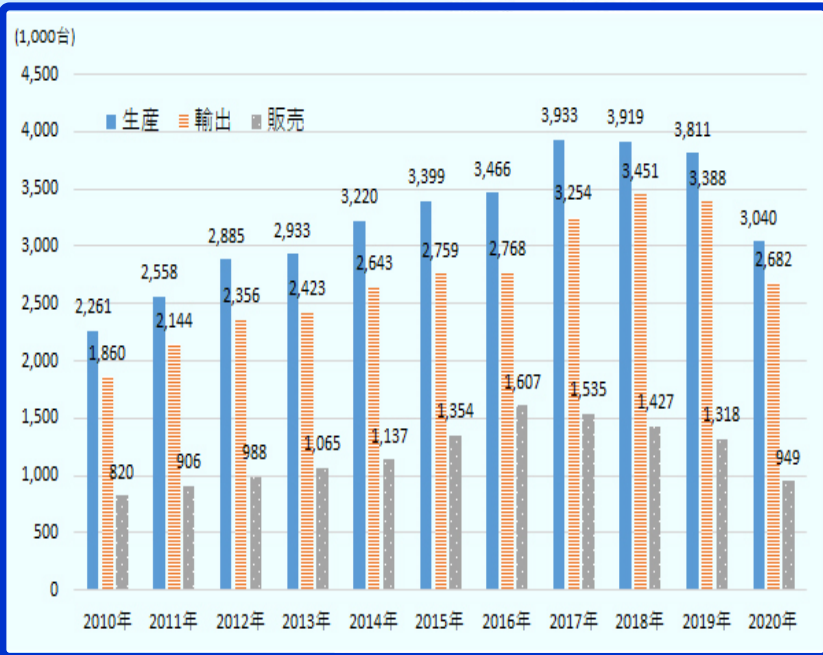
## 潜在成長力あるインドへの挑戦



成長期待の大きなインドで新たなパートナーとビジネスを開始



## メキシコ 自動車生産/輸出/販売実績



米国の隣国として生産、輸出は順調に増加

## F&P MFG DE MEXICO, S.A. DE C.V.



投資目的	生産能力拡充
投資時期	2019年
投資金額	20百万USDドル
工事期間	2019年10月 着工 2020年11月 完成

## 拡販が実を結ぶメキシコで更なる生産能力拡充に向け準備中

この1年間は制約なくあらゆる可能性を模索

投影のみ

活動で得られた知見・情報ネットワークを活用し、有力案件を絞り込み

## 第14次中期3ヵ年経営計画

	2020年度実績	2021年度見通し	2022年度計画
売上高	1,836億円	新型コロナウイルス及び半導体不足の影響により未開示	2,150億円
営業利益	30.7億円		75億円
営業利益率	1.7%		3.5%

20年度、21年度は新型コロナウイルス＋半導体不足の影響により計画値出せず

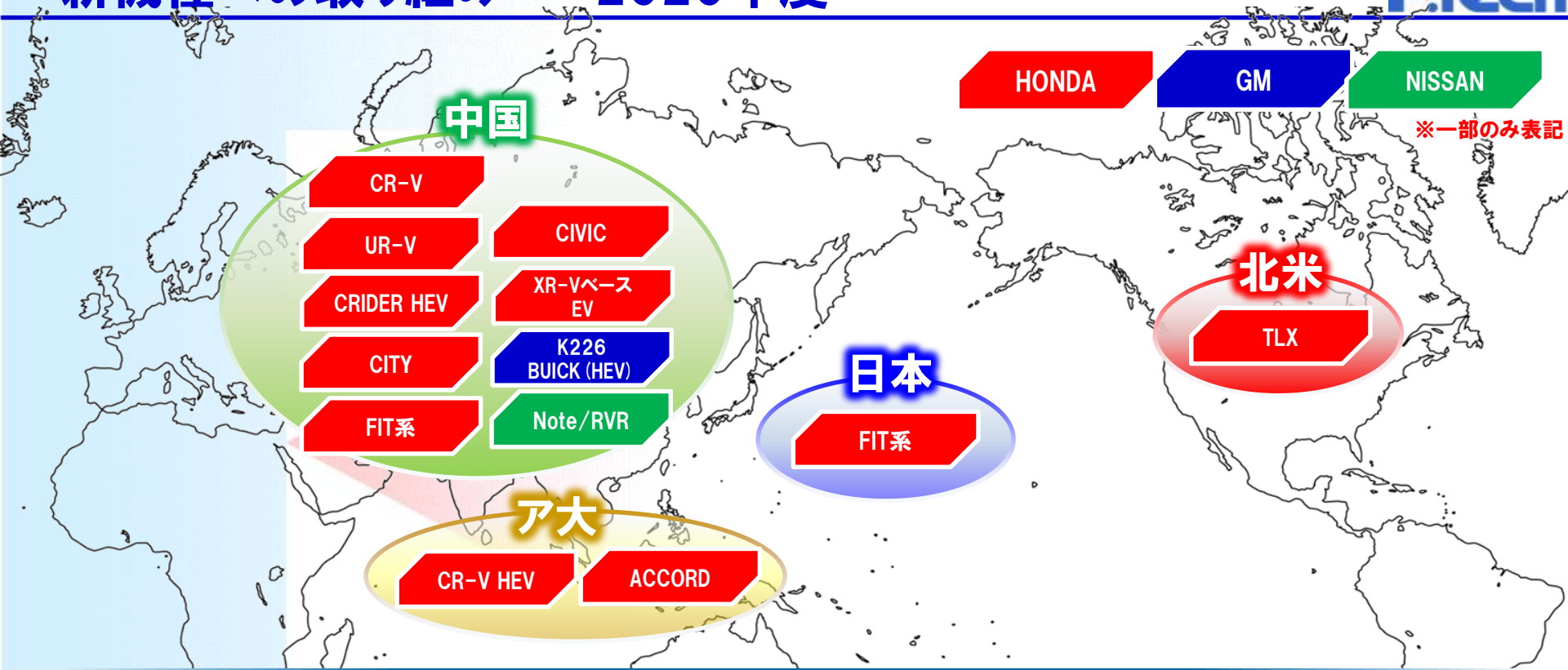


1 決算概要

2 経営戦略

3 トピックス

# 新機種への取り組み ～2020年度～



※一部のみ表記

2020年度も数多くの新機種を安定的に立ち上げ量産開始

# 持続的成長を支える取り組み ～CSR/ESG全体像～

## 課題

## 主な取り組み

## Goal

### 環境

- ・CO2排出削減
- ・大気・水・土壌等の環境保全
- ・省資源・水や廃棄物削減
- ・化学物質管理
- ・環境に配慮した製品開発
- ・生物多様性の保全

### 【新2030年 グローバル環境目標】

- ・CO2 排出原単位 : ▲ 18%改善
- ・水資源使用原単位 : ▲ 14%改善
- ・廃棄物排出原単位 : ▲ 13%改善

(基準年:2017年度 指標:売上高)

### 社会

- ・働きやすい環境づくり
- ・品質への取り組み
- ・株主、投資家、社会との係わり

- ・ダイバーシティ、Work-life Balanceの取組
- ・製品毎に品質に関する総合評価を実施
- ・IR活動、適時適切な開示等の展開

### 統治 企業

- ・コーポレートガバナンスの進化
- ・CSR活動のグローバル展開
- ・リスク管理のグローバル展開

- ・CGコード対応によるCGの整備・運用強化
- ・CSR行動指針のグローバル浸透、PDCA展開
- ・BCPのレベルアップ継続、ITセキュリティ強化



環境・社会・企業統治など対応課題へ積極的に取り組んでいます

## コーポレートガバナンスコードの改定

### 原則

78原則 — **+5原則** → 83項目

### 新設5原則

補充2-4①	中核人材の多様性確保
補充3-1③	サステナビリティ取り組みの開示 (P)
補充4-2②	サステナビリティへの基本方針策定 取締役会による実効的な監督
補充4-11①	独立社外取締役: 経営経験有する者含む
補充5-2①	経営戦略策定・開示には事業ポートフォリオの方針等示すべき

### 原則

12項目修正

### 主な修正

- ・議決権行使PF利用 (P)
- ・サステナビリティを巡る課題への取り組み (P)
- ・必要な情報の英語開示 (P)
- ・G全体のリスク管理体制の監督
- ・独立社外1/3以上or 過半数 (P)
- ・諮問委員会設置 (過半数社外) (P)
- ・取締役のスキルの組み合わせ
- ・多様性に職歴や年齢を含む
- ・内部監査部門との関係性変化
- ・社外役員等の株主との面談

※青字はプライム市場への移行のための達成要件

## 当社はプライム市場移行への準備を進めております

## 品質等への取り組み

品質面

### 品質優良賞 受賞



◆ General Motors de Mexico  
S. de R.L. de C.V様より受賞

### 品質協力賞 受賞



◆ 广汽トヨタ自動車有限公司様  
より受賞

供給面

### サプライヤー奮闘賞 受賞



◆ SAIC General Motors Corp. Ltd様  
より受賞

### 供給優秀取引先賞 受賞



◆ 广汽本田汽车有限公司様  
より受賞



## 生産技術・効率への取り組み

### 文部科学大臣表彰



創意工夫功労者賞(2年連続)

久喜事業所

### 文部科学大臣表彰



創意工夫功労者賞(3年連続)

亀山事業所

### 抗疫生産回復貢献賞



广汽三菱汽车有限公司様より

偉福科技工業(武漢)有限公司

## 社会貢献

### 【自社生産マスク寄贈活動】



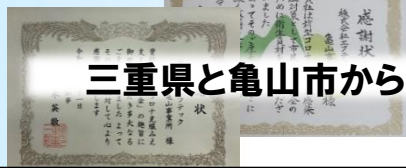
埼玉県庁 (8,000枚)



久喜市役所 (10,000枚)

計 33,000 枚 寄付させていただきました

(感謝状)



三重県と亀山市から



HONDA様から

## 社会貢献

### 【エフテックの森林づくり】



※2019年開催時

森林づくりに向け埼玉県と契約締結  
第三協定期間(2020~2024年)

当社はこれからも社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります

## 働き方改革

### 一般的な課題

長時間労働の是正

多様で柔軟な働き方の実現

各雇用形態に対し  
公正な待遇確保

### 当社の取り組み

柔軟性ある働き方導入

- ・時間外労働の削減
- ・仕事・私生活の両立

販管費5%削減

コロナ影響で一気に進む

### フレックスタイム

コアタイム以外  
の勤務時間を  
自由に設定

### リモートワーク



在宅  
勤務  
実現

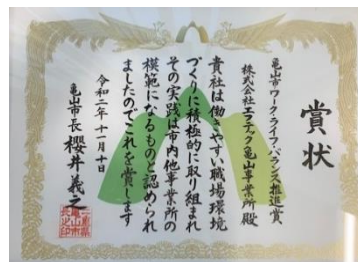
### WEB会議



出張なし

### 【各種受賞】

#### 亀山市ワーク・ライフ・バランス推進賞 受賞



【評価項目】 ※一部抜粋

- 有休取得日数(取得率)  
育児休業制度/介護休業制度  
利用者数(取得率)
- 長時間労働削減取り組み
- 男女が共に働きやすい職場  
環境づくりに向けた取り組み等

#### みえの働き方改革推進企業 『グッドプラクティス賞』受賞



当社はこれからも働き方改革に主体的に取り組んでまいります

## 優待品 QUOカードの進呈方法を改定しました

## 改定前

基準日 3月31日

保有株式数  
100株以上優待内容：  
一律  
1,000円株式の保有数、保有期間  
に応じて優待内容を改定

## 改定後

基準日 2021年3月31日での株式保有者から適用

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上
100～300 株未満	0円	1,000円	1,000円	1,000円
300～500 株未満	0円	1,000円	<b>2,000円</b>	<b>2,000円</b>
500株 以上	0円	1,000円	<b>2,000円</b>	<b>3,000円</b>

# ご清聴ありがとうございました



本資料で記述している将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績と記述としている将来見通しは、大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。

IR情報のお問い合わせ、取材申し込みは

**株式会社エフテック** 管理本部 総務部/経理部

代表TEL 0480-85-5211

Mail [webmaster@ftech.co.jp](mailto:webmaster@ftech.co.jp)

# Appendix

# Appendix ~連結貸借対照表(2021年3月期末実績)~

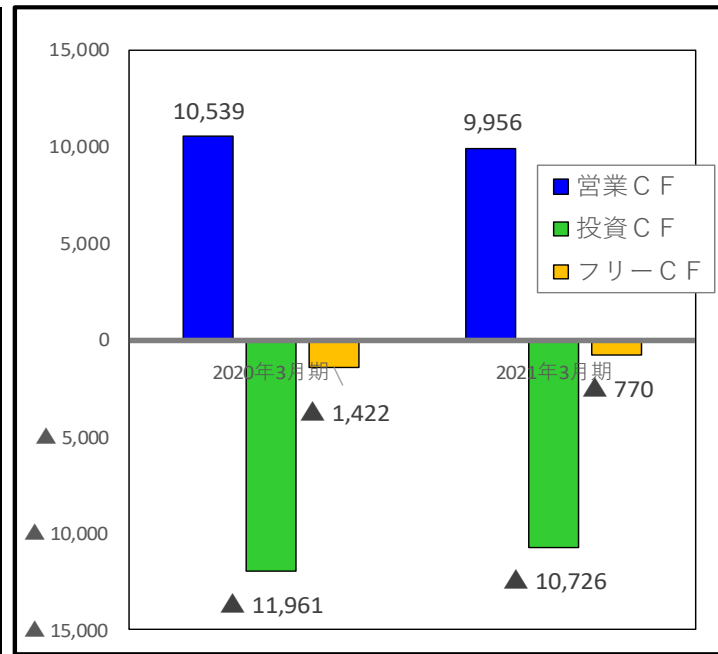


	2020年3月期	2021年3月期	増減
	実績	実績	
現金及び預金	8,879	3,708	▲ 5,171
受取手形・売掛金	27,955	31,578	3,623
棚卸資産	19,093	19,642	549
その他	3,027	2,744	▲ 283
<b>流動資産</b>	<b>58,956</b>	<b>57,673</b>	<b>▲ 1,283</b>
有形固定資産	66,714	70,012	3,298
無形固定資産	363	320	▲ 43
投資その他資産	8,004	8,708	704
<b>固定資産</b>	<b>75,081</b>	<b>79,041</b>	<b>3,960</b>
<b>総資産</b>	<b>134,038</b>	<b>136,714</b>	<b>2,676</b>

有利子負債残高	51,342	49,565	▲ 1,777
有利子負債依存度	38.3%	36.3%	-2.0%

	2020年3月期	2021年3月期	増減
	実績	実績	
支払手形・買掛金	17,427	19,772	2,345
短期借入金	20,395	20,872	477
1年以内長期借入金	9,740	9,884	144
その他	7,849	8,872	1,023
<b>流動負債</b>	<b>55,412</b>	<b>59,401</b>	<b>3,989</b>
長期借入金	19,146	16,943	▲ 2,203
その他	5,186	5,337	151
<b>固定負債</b>	<b>24,333</b>	<b>22,280</b>	<b>▲ 2,053</b>
<b>負債合計</b>	<b>79,745</b>	<b>81,682</b>	<b>1,937</b>
株主資本合計	41,914	40,019	▲ 1,895
その他包括利益累計	▲ 1,778	286	2,064
非支配株主持分	14,156	14,726	570
<b>純資産合計</b>	<b>54,292</b>	<b>55,032</b>	<b>740</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>134,038</b>	<b>136,714</b>	<b>2,676</b>

	2020年3月期	2021年3月期	増減
	実績	実績	
営業活動キャッシュフロー	10,539	9,956	▲ 583
投資活動キャッシュフロー	▲ 11,961	▲ 10,726	1,235
財務活動キャッシュフロー	3,345	▲ 4,363	▲ 7,708
現金及び現金同等物に係わる為替差額	▲ 236	▲ 37	199
現金及び現金同等物の増減額	1,688	▲ 5,170	▲ 6,858
現金及び現金同等物の期首残高	7,191	8,879	1,688
現金及び現金同等物の期末残高	8,879	3,708	▲ 5,171

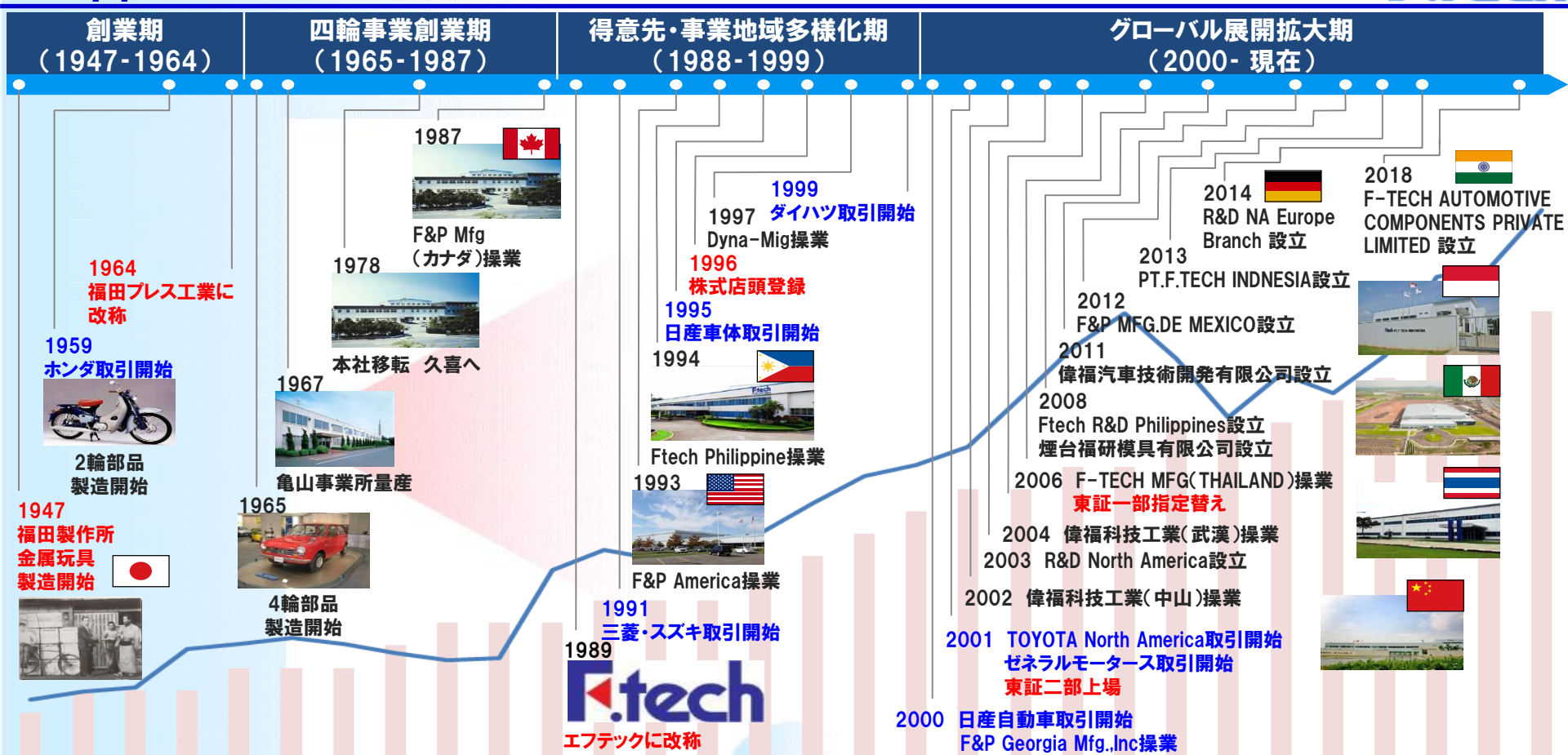




会社名	株式会社エフテック	
市場区分	東証一部(7212)	
資本金	67.9億円	
代表者名	代表取締役社長 福田祐一	
売上高(連結)	1,836億円(2021年3月期)	
従業員数(連結)	9,400人(単体:962人) ※単体:国内エフテックのみ(子会社、海外駐在員含まず)	
設立年月日	1947年7月1日	
本社所在地	〒346-0194 埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼19番地	
主要取引先	本田技研工業株式会社、ゼネラルモーターズ社、 日産自動車株式会社、トヨタ自動車株式会社、etc.	
主要製品	自動車向け足廻りサスペンションアーム、 サブフレーム、アクスルビーム、ペダルコントロール等	

2021年3月末現在

# Appendix ~沿革~

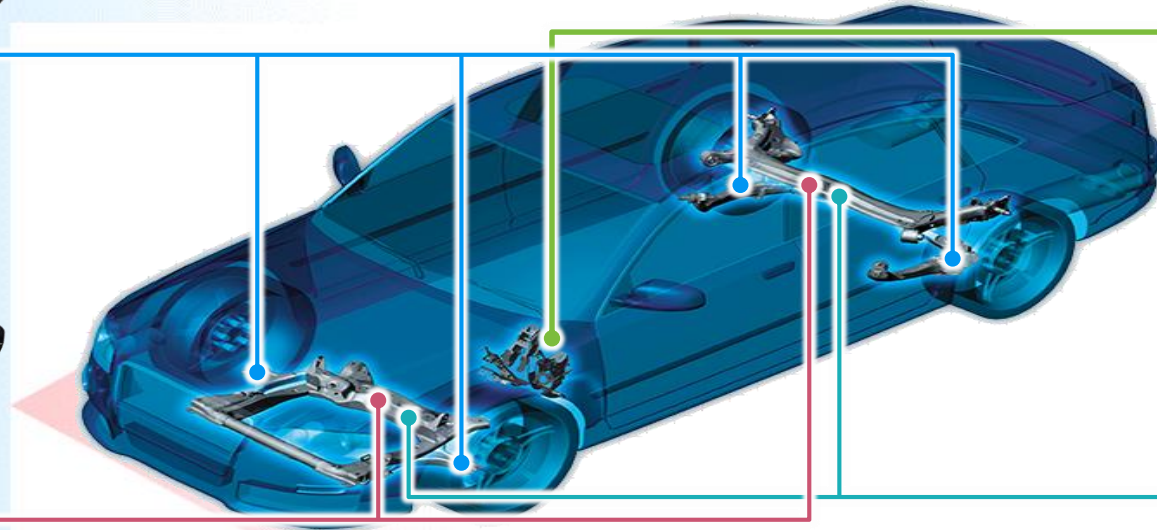




サスペンション  
部品



マウント部品



コントロール部品



当社の製品は、「走る」・「曲がる」・「止まる」の基本機能を司る、重要保安部品であり、より高い操縦安定性や乗り心地、衝突時の安全性を考慮した最適仕様を目指しています。

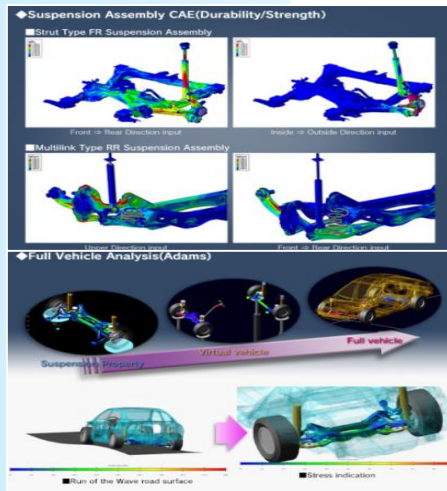
製品開発

塑性成形

接合

塗装

組立



**製品の企画開発から量産まで、全工程を独自の一貫加工体制で対応、  
圧倒的に競争力の高い製品をスピーディーに提供しています。**

## ●【国内事業所】

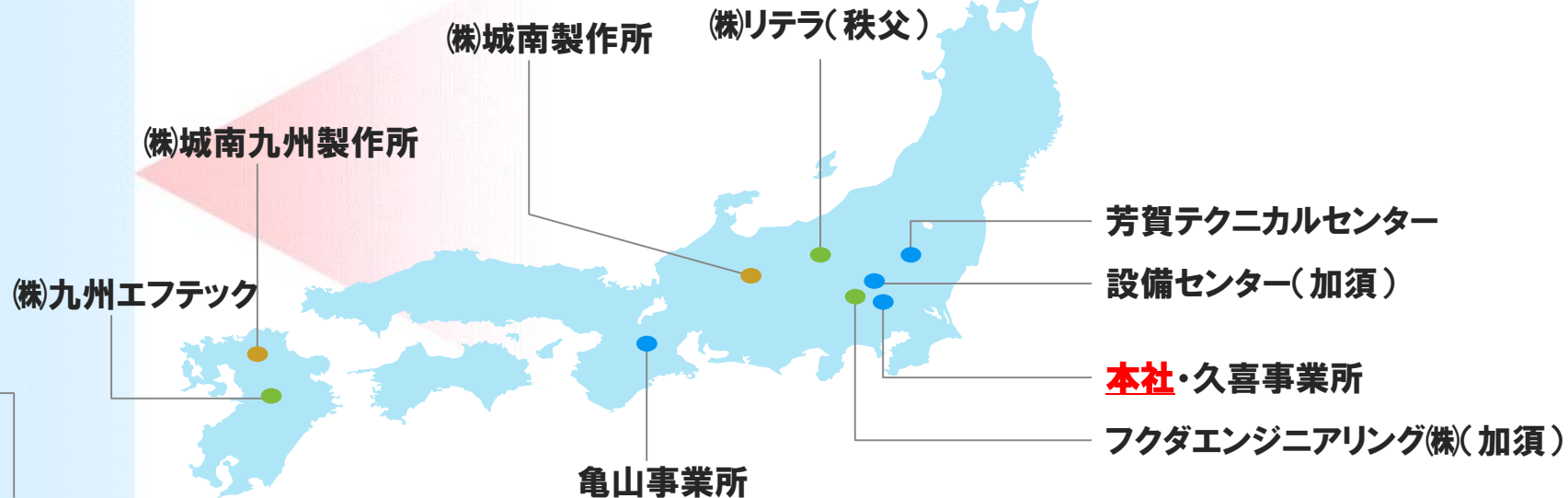
本社・久喜事業所  
亀山事業所  
芳賀テクニカルセンター  
設備センター

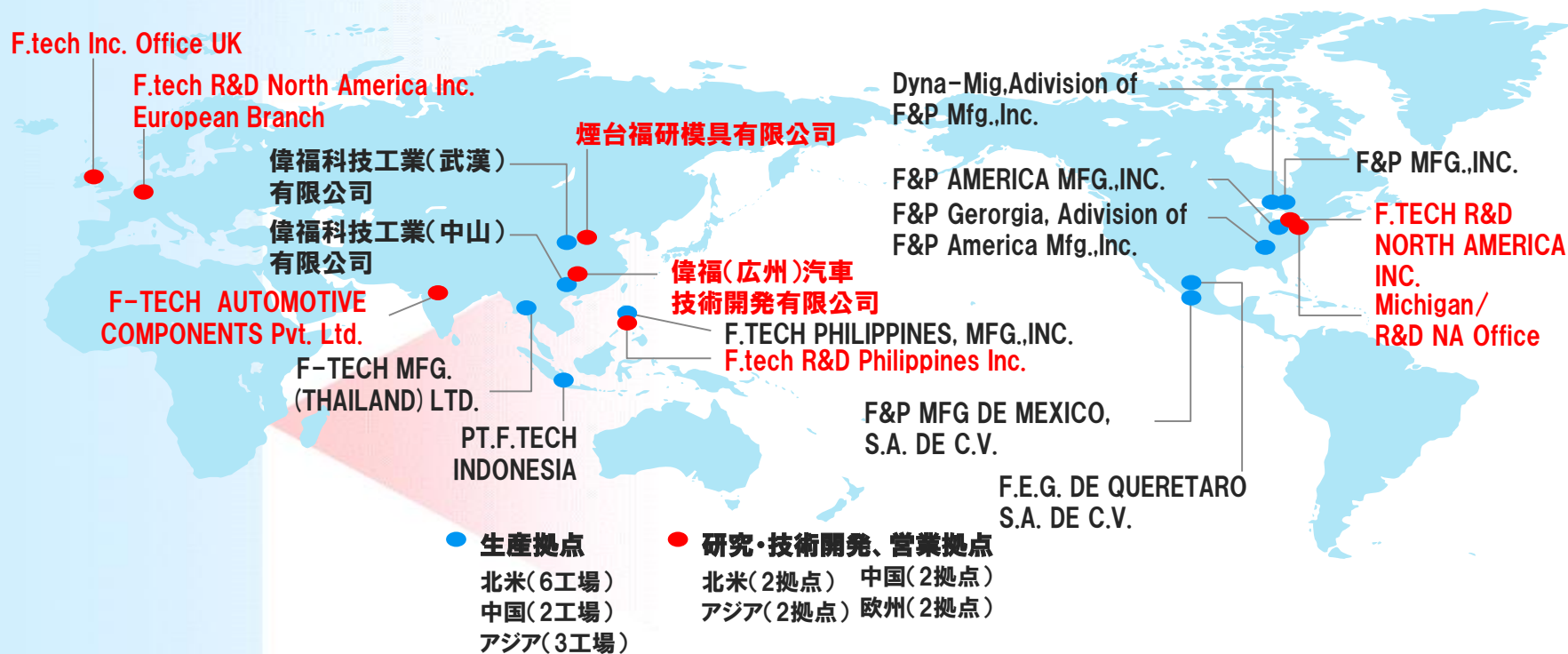
## ●【国内グループ会社】

フクダエンジニアリング(株)  
(株)九州エフテック  
(株)リテラ

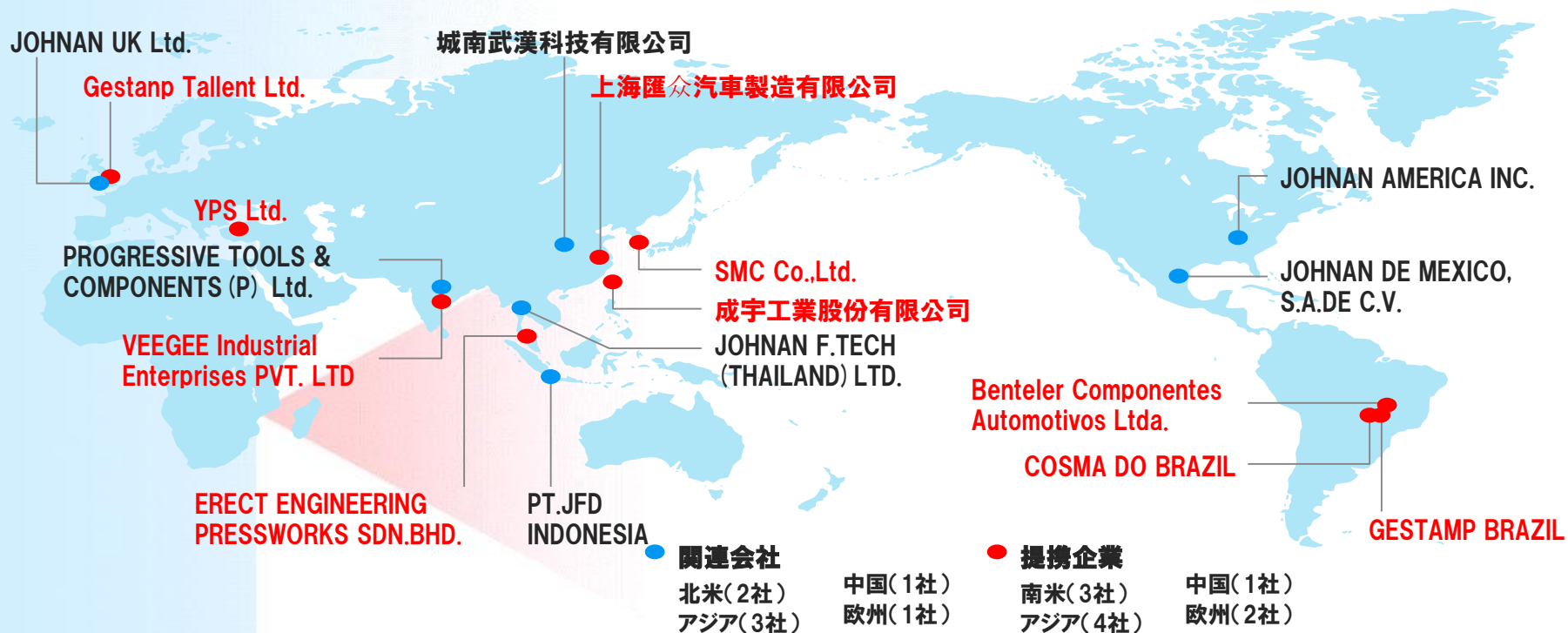
## ●【国内関連会社】

(株)城南製作所  
(株)城南九州製作所





世界10カ国11生産拠点、8研究・技術開発拠点を有しています。



7か国・1地域での提携関係により、当社製品の世界供給体制を構築



会社名称	VEEGEE INDUSTRIAL ENTERPRISES Pvt. Ltd.
設立	1990年
従業員	約1400名
主要製品	各種プレス加工、サブアンセンプル、チューブ/パイプ溶接など
主要顧客	ホンダ、スズキ、GM、TATA、オートリブ、シュナイダーなど
事業内容	自動車部品(ボディ部品、ペダル部品、シャーシ部品)の製造・販売